

オランダ・ドイツ ESD 研修旅行に参加して学んだこと

～ドイツのリーム地区を参考に広島のみちづくり・再開発について考える教材開発の報告～

広島県立高陽高等学校 秋元 美輝

(1) 研修旅行の目的

私がこのたびの研修旅行に申し込んだ理由は二つあります。一つ目は、地理という学問はフィールドワークが重要であるためです。実際に自分で見聞きしたことをもとに教材研究することにより、より生徒が興味を持つ授業をつくることができると考えたからです。二つ目は、実際に世界の ESD 先進国へ勉強に行くことができるためです。現行学習指導要領から新学習指導要領に改訂される上で取り上げられているキーワードの中に、ESD があります。しかし、私はどのように ESD を授業で取り上げていけば良いのだろうと悩んでいました。ESD 先進国のヨーロッパの様子を実際にみることができる機会はなかなかありません。個人の旅行ではできない貴重な経験をすることができると考え、研修旅行に申し込みました。

(2) 興味深かった研修内容

平和学習の視点で印象的だったのは、アンネフランクの家、ドク・ツェントルム、ツェッペリンフェルト、ダッハウ強制収容所跡です。世界史の授業で歴史的事実として教えてきましたが、教科書やインターネットや映像で見えるものよりも膨大な資料の数に圧倒されました。実際の建物や広場の大きさを体験できたことが良かったです。それと、戦争の遺産のその後の利用方法にも興味を持ちました。公園として環境整備を行い、人々の憩いの場として教育の場として利用していました。そして、忘れてはならない歴史として受け継いでいく工夫もみられました。広島も平和都市として戦争の遺産を活用していく必要があり、比較することができました。

まちづくり・再開発の視点で印象的だったのは、公共交通機関の日本との違いです。オランダ・ドイツの路面電車と広島の路面電車の違いに興味を持ちました。それと、自転車専用道路や歩行者専用道路が自動車道路とは別にきちんと整備されていたり、パークアンドライドのシステムがあったり、路面電車とバスの停留所を併設させ利便性を高めるなど様々な工夫がみられ体感できたことが、とても良かったです。パークアンドライドやリーム地区都市開発の分野などの ESD に役立つ教材を実際に自分の目でみて体験することができました。特にリーム地区の空港跡地再開発に興味を持ちました。幅広い世代をまちに取り入れ、職住近接や環境への配慮、交通機関を複数路線いれるなど『自然と社会との共生』や『持続的な開発』の視点が取り入れられていることに興味を持ち、教材を開発しました。

(3) 研修成果(学習指導案)と課題、今後の取り組み

地理歴史科 地理 B 学習指導案

指導者 秋元 美輝

- 1 日時・場所・学年・学級 平成 28 年 9 月 9 日(金)
- 2 学年・学級 3 年 3 組 39 人(男子 18 人, 女子 21 人)
- 3 単元名 人口, 村落・都市 都市・居住問題
- 4 単元について

○単元観

この単元では, 先進国と発展途上国のそれぞれに起こっている都市・居住問題について考えさせ, それを解決していくためにはどうすれば良いのかを考えさせる。身近な事例である広島のみちづくり・再開発の課題や展望を考え, 世界の事例として, ドイツのリーム地区を取り上げた。世界のより良い事例・最新の事例を生徒に教えることで, 日本のみちづくり・再開発を持続可能なものにしていくために必要な新しい視点や考えを生徒が取り入れることができると考える。

○生徒観

授業を行ったクラスは文系クラスで, 2 年生で地理 A を 2 単位, 3 年生で地理 B を 5 単位, クラス全員が履修しており雰囲気は良く, 話し合いもスムーズに進行することができる。しかし, 普段の授業から何かに探求心を持って質問してくる生徒は一部で, 全体的に受け身的なところがある。探究活動を通して知識が必要なことやもっと勉強をしなければならないとこの授業を通して気付いて欲しい。

○指導観

解決方法を決断することは難しいが自分の身近な事例を取り上げることにより発言しやすい雰囲気をつくる。地理で勉強している都市・居住問題は自分たちの身近な問題で, 地理で勉強していることや考え方を使い, 社会問題を考えることが大切だと感じさせたい。

5 単元の目標

- 世界の都市・居住問題, 広島のみちづくり・再開発について理解できる。
- 案を批判的に考え, 多面的, 総合的に考え, 他者と協力し, 広島の未来像を予測して計画を立てることができる。
- 他者と協力しコミュニケーションを取り, 話し合いや発表に進んで参加することができる。

6 単元の評価規準

	評価項目	第1段階	第2段階	第3段階
態度 意欲 関心	○グループ活動への参加。	話し合いに参加することができる。最低1回は発言する。	話し合いに積極的に参加・意見する。自分の意見や他者の意見を比較しまとめる。	話し合いに積極的に参加・意見し、進行し、話し合いがスムーズになるよう行動できる。
判断 思考	○世界と広島のまちづくり・再開発について考える。	広島のまちづくりについて考えることができる。	広島のまちづくりについて自分たちの問題として考えることができる。	広島のまちづくりについて自分たちの問題として考え、解決策を考えることができる。
	○広島未来像を予測して、持続可能な開発の視点を取り入れて、案を再構築することができる。	持続可能な開発の案がどれか考えることができる。	持続可能な開発の案を考え、広島未来像を予測することができる	持続可能な開発の案を考え、広島未来像を予測し、新たなまちづくりについて考えることができる。
表現 技能	○グループ・全体で発表したり説明したりし、他者と協力することができる。	自分の考えを発表することができる。	自分の考えを発表し、他者の意見も聴くことができる。	自分の考えを発表し、他者の意見も聴き、質問に答えることができる。
理解 知識	○都市・居住問題について自分たちの身近な問題と比較して理解することができる。	都市問題について理解することができる。	都市問題の解決策について知識を得て、理解することができる。	世界の先進的な都市問題の解決策を理解し、自分たちの身近な問題になっている都市問題について知識を得て理解することができる。

7 指導と評価の計画（全4時間）

次	学習内容（時数）	評価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1	発展途上国の都市問題について。先進国の都市問題について。	○			◎	発展途上国と先進国の都市問題について比較しながら理解することができる。	行動観察 定期考査
2	『広島のみちづくり・再開発について考えよう』グループ活動	○	◎	◎	○	自分たちのまちにある課題を考え、多面的、総合的に考え、どう解決していくべきか考えることができる。	行動観察 ワークシート
3	世界の先進的なまちづくり・再開発を行っているリーム地区について理解する。	○	◎	○	◎	世界の先進的な事例について理解することができる。	行動観察
4	『広島のみちづくり・再開発について考えよう』持続可能な開発の視点を取り入れて再思考する。	○	◎		◎	持続可能な開発の視点を取り入れて、広島の未来像を予測してより良いまちづくり・再開発方法を考えることができる。	行動観察 自己評価シート ワークシート

8 単元の展開

時 限	展開の概要
1 時 限	発展途上国の都市問題についての授業をする。 先進国の都市問題についての授業をする。
2 時 限	テーマ『広島のみちづくり・再開発について考えよう！』 グループワーク《4人×9班，3人×1班》。1テーマ2班ずつ。 生徒は，①広島西飛行場，②旧市民球場跡地，③サッカースタジアム，④広島駅前，⑤公共交通機関全般について，どのようなまちづくり・再開発があるか複数案考える。 発表を聞いている生徒は，どの案が良いか考える。

3 時 限	教員が、ドイツのリーム地区やオランダ・ドイツの公共交通機関がどのようにつくられているかを説明する。 生徒は、自分たちが考えた案が自然と社会との共生が可能か、持続可能な開発であるかを考え、各案を判断し、持続可能なものには○、持続可能でないものには×を書く。
4 時 限	前回の話し合いの続きをする。生徒は、各案を持続可能か可能でないか判断し、みんなの前で発表する。新たな案があれば加えて発表する。 発表を聞いた生徒は、自然と社会との共生が可能か、持続可能な開発であるかという視点をいれて良い案だと思ったものを考える。

9 まとめと課題、今後の取り組み

授業実践では、生徒が最初に良いと思ったまちづくり・再開発案と、リーム地区の事例を勉強した後、『自然と社会との共生』や『持続可能な開発』という視点を取り入れて良いと思ったまちづくり・再開発案は、全員一つ以上のテーマについて考え方が変化していました。このことにより、生徒は『持続可能ではない点を地理的な視点から発見する力』や『コミュニケーションを取り、他者と協力しながら代替案をつくる力』や『多面的、総合的に考え、未来像を予測して計画を立てる力』などのE S Dの視点に立った能力・態度が身に付いたと考えます。

生徒のアンケートからは、「最初に考えたことと持続可能という視点をいれて考えたことでは、後者の方が現実味があって難しかった。」「未来のことを考えないと新しくつくっても意味がない。」「大人から子どもまで幅広い層が楽しめることが大切だとわかった。」「ただがむしゃらに計画をたてるのではなく、持続可能であるかということや環境にやさしいかなど、色々な項目に配慮しながら計画することは大変なことだと思った。」「開発と環境維持の両立はとても難しいと思った。」などの意見が書かれていました。このことから生徒をゆさぶり、多面的、総合的に広島について考え、未来像を予測することができました。

しかし、様々な課題も出ました。生徒は自由な発想で様々なことを言うため本当に持続可能な開発の視点が入っているのかを判断することが難しかったです。また、広島はとても住みやすく課題はないという生徒もあり、いかに課題を見つけさせるかが難しかったです。

今後は、まず今回行った授業を改善していくと共に、広島の団地とリーム地区を比較しながら広島の団地の課題を考えるような授業を考えていきたいと思います。そして、今回旅行の中で手に入れた書籍や写真などの教材をもとに新たに教材開発を行っていきたいです。今回の経験を生徒に還元することができるよう、日々の教材研究に努力していきたいと思っています。

広島のまちづくり・再開発を考えよう！ ワークシート

①最初に良いと思った案

②自然と社会との共生，持続可能な開発という視点をいれて良いと思った案

① ②
●広島西飛行場 【 】 → 【 】
→一言【 】

① ②
●旧市民球場跡地 【 】 → 【 】
→一言【 】

① ②
●サッカースタジアム 【 】 → 【 】
→一言【 】

① ②
●広島駅前 【 】 → 【 】
→一言【 】

① ②
●公共交通機関全般 【 】 → 【 】
→一言【 】

☆持続可能な開発という視点をいれたまちづくりについてわかったこと・感想

Q. 最後に…広島は平和都市としてまちづくりを行っています。その中で問題になっているのは，被爆建物の保存・活用です。あなたならどう活用しますか？

